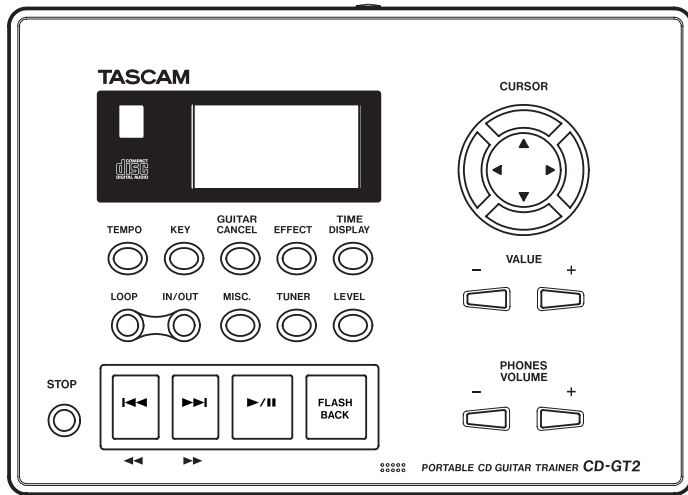


D00996101C

TASCAM
TEAC Professional Division

CD-GT2

Portable CD
Guitar Trainer





取扱説明書




安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告



万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



本体を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



船舶などの直流（DC 電源）には接続しないで下さい。火災の原因になります。



レーザー光源をのぞき込まないで下さい。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

⚠️注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意して下さい。耳を刺激する様な大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器に、ACアダプターを接続する場合、専用のACアダプター（PS-P520）をご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

安全にお使いいただくために.....	2	電源のオン/オフ	15	その他の機能.....	32
はじめに	6	各部の名称と機能.....	16	メトロノームを使う	32
本機の特長.....	6	操作部	16	メトロノームを止めるには.....	33
本書の使い方.....	6	前面	18	チューナーを使う	33
付属品	6	背面	18	AUTOモード	33
CD (コンパクトディスク) の取り扱い.....	7	接続する	19	GUITARモード	34
結露について.....	8	画面の表示と操作.....	20	OSCモード	34
製品のお手入れ.....	8	画面概要	20	フットスイッチを使う	35
アフターサービス	8	TIME DISPLAY 画面	20	接続する	35
クイックスタートガイド——使ってみよう	9	その他の画面	21	動作を設定する	35
準備する.....	9	設定操作の基本	22	極性を設定する	35
電源を入れる	9	CDを聴く	23	いろいろな設定を行なう	36
CDを入れる	9	CDの基本再生	23	モノラルでモニターする.....	36
ヘッドホンをつなぐ	10	少しだけ戻す (フラッシュバック機能) ...	23	CD再生音とギター音を左右に分離する...	36
再生する.....	10	音量を調節する	24	時間表示を選ぶ.....	37
CDを再生する	10	テンポを変える	24	ディスプレイのコントラストを変える	37
音量を調節する	11	テンポに伴って音程を変える.....	24	すべての設定を元に戻す	37
再生テンポを変える	11	音程だけを変える.....	25	仕様	38
ギターを演奏する	11	ギターの音を減衰させる.....	25	CDプレーヤー	38
ギターをつなぐ	11	ループ再生する	26	オーディオ入出力定格	38
エフェクタを使う	12	プレイモードを選択する.....	27	一般	38
CDに合わせてギターを弾く.....	12	リピート再生する	27	寸法図	38
電源を切る.....	12	ギターやマイクを使う	28	エフェクタプリセット一覧.....	39
すべての設定を元に戻す	12	入力を設定する	28	GUITAR EFFECT	39
電源について.....	13	入力レベルを調節する	29	VOCAL EFFECT.....	40
電池で使用する	13	モニター音量を調節する.....	29	エフェクトモジュールのパラメーター一覧	41
電池についての注意	13	CDを再生しながら演奏する.....	29		
電池残量表示	13	内蔵エフェクタを使う	30		
電池寿命	14				
ACアダプターでの駆動.....	14				

はじめに

本機は音程を変えずに再生スピードを変える、といった特殊な再生が可能なCDプレーヤーで、ギタリストの練習用として最適です。通常の再生で聴き取れないようなフレーズでも、本機を使ってゆっくり再生することにより、容易に聴き取ることができます。また本機にギターを入力して、再生する音楽に自分の演奏をミックスすることができます。

本機の特長

CDプレーヤー機能

- 音程を変えないで再生スピードを変えることが可能。
- 再生スピードを変えないで音程を変えることが可能。
- 再生時にリードギターの音を減衰させることが可能。
- 希望の範囲をループ再生可能。

その他の機能

- 電池（単三×4本）または別売のACアダプターで駆動。
- ギターエフェクタ内蔵。
- マイクエフェクタ内蔵。
- CDを聴きながらギターの演奏が可能。
- チューナー内蔵。
- メトロノーム内蔵。
- ヘッドホン端子およびライン出力端子を装備。
- フットスイッチを使った本体操作が可能。

本書の使い方

本書は「クイックスタートガイド編」と「本編」で構成されています。クイックスタートガイド編には、準備からCDの基本再生のしかたやエフェクタの使い方までが、順を追って説明されています。CD-GT2をご購入後すぐに使ってみるときにご覧ください。ただし、ここではすべての機能は説明されていません。

本編には、各キー／つまみの働きや、CD-GT2の各機能の詳しい説明、仕様などが述べられています。細かい注意事項なども書かれていますので、ぜひ一読ください。

付属品

- 取扱説明書（本書） 1
- 保証書 1
- トラブルシューティング 1

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

CD (コンパクトディスク) の取り扱い

本機では、CD-DA フォーマットのオーディオ CD を再生することができます。

(CD) マークのある市販のオーディオ CD (12cm/8cm) だけでなく、正しくオーディオが記録された CD-R および CD-RW ディスクの再生が可能です。

注意

CD-R、CD-RW ディスクの場合、ディスクの品質、録音の状態によっては、正しく再生できない場合があります。

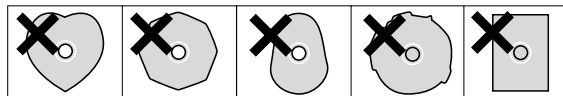
- ディスクは必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音飛びの原因になりますので、いつもきれいに掃除して、ケースに入れて保管してください。



- ディスクをレコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- ディスクを直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。そりなどの原因となります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷付けて再生できなくなる場合があります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形、名刺形などの特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- CD を取り出す場合、CD のカバーを開けた直後にまだ CD が回転していることがあります。このような場合は、CD の回転が止まってから CD を取り出してください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクメーカーにお問い合わせください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。

化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を痛める原因となります。

アフターサービス

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。
 - 型名、型番（TASCAM CD-GT2）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名

クイックスタートガイド —使ってみよう

さっそく本機を使ってみましょう。準備からCDの再生、さらにギターを接続してCDと共演するまでの標準的な操作を紹介します。

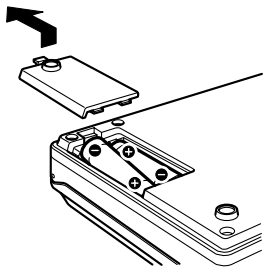
準備する

電源を入れる

本体裏側の電池ケースカバーを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて、市販の単3型電池を4本入れます。

メモ

電池は本機に付属していません。電池はニッケル水素電池、アルカリ乾電池をお奨めします。



電池をセットしたら、電源を入れます。

本体背面の**POWER**スイッチを約1秒押し続け、ディスプレイに“TASCAM”が表示されたら離します。数秒後に起動が完了し、**TIME DISPLAY**画面が表示されます。

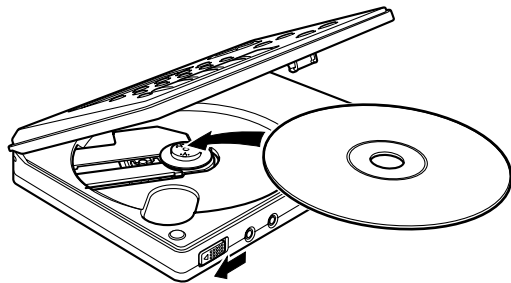
メモ

電源として、電池の代わりに別売のACアダプター(PS-P520)を使うこともできます。その場合、本体背面の**DC IN 5V**端子にACアダプターを接続してください。

CDを入れる

本機では操作部全体がトレイのカバーを兼ねています。

本体前面の**OPEN**スイッチを左へスライドし、トレイカバー全体を開きます。CDをCDトレイに載せ、カチッと音がするまで上から押さえてセットしてください。セットした後、トレイカバーを元に戻します。



メモ

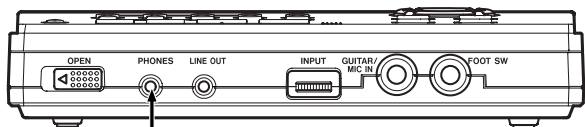
トレイカバーが開いた状態ではキー操作はできません。

クイックスタートガイド — 使ってみよう

ヘッドホンをつなぐ

本体前面の PHONES 端子にヘッドホンを接続します。

接続する前に、操作部の PHONES VOLUME (－) キーを使ってヘッドホンボリュームを最小にしておきます。

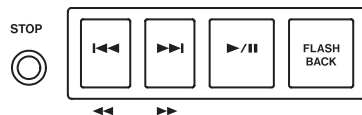


ヘッドホン



再生する

CDを再生する



▶/|| キーを押して再生を開始します。

再生開始後、好みの音量に PHONES VOLUME (+, -) キーを使ってヘッドホンボリュームを調整します。

もう一度▶/|| キーを押すと、一時停止します。

STOP キーを押すと、停止します。

▶▶/◀◀ キーを押すと、次/手前の曲頭にスキップします。

再生中に▶▶/◀◀ キーを押したままにすると、早送り/早戻しサーチを行ないます。

再生中に FLASH BACK キーを押すと、3秒手前に戻ります。

メモ

FLASH BACK キーを押したときに戻る秒数を変更することができます。(→23ページ「少しでも戻す(フラッシュバック機能)」)

メモ

オーディオシステムやアンプ内蔵スピーカーでモニターする場合は LINE OUT 端子を使います。接続には、接続する機器にあわせた別売りの接続ケーブルが必要です。

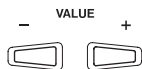
音量を調節する

PHONES VOLUME (+, -) キーを使って、ヘッドホンの音量を調節します。



再生テンポを変える

TEMPO キーを押して TEMPO CHANGE 画面を表示し、下図のように TEMPO の値が反転しているときに、VALUE (+, -) キーを使ってテンポ値を変えます。



メモ

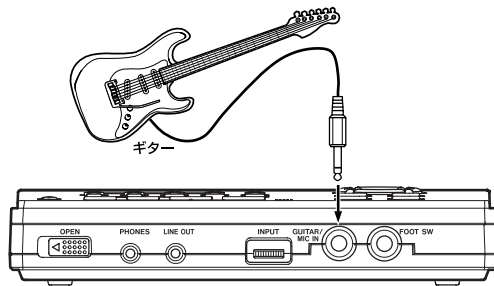
初期設定では、テンポを変えても音程が変わらない **VSA** 機能がオンしています。

テンポに伴って音程が変わるようにするには、**TEMPO CHANGE** 画面で **CURSOR** (▼) キーを使って **FIX_PITCH** の値を反転し、**VALUE** (-) キーを使って "**VSA OFF**" を選択します。

ギターを演奏する

ギターをつなぐ

本体前面の **GUITAR/MIC IN** 端子にギターを接続します。このとき、隣りにある **INPUT** ダイヤルを **0** にしておき、接続してから音量を上げていきます。



メモ

この端子にマイクを接続することもできます。その場合、マイク入力モードに切り換えます。(→28ページ「入力を設定する」)

エフェクタを使う

ギター音にエフェクトをかけるには、**EFFECT** キーを押して **EFFECTOR** 画面を表示し、下図のように **BANK** の値が反転しているときに、**VALUE** (+, -) キーを使っていずれかのエフェクトバンク (**01** ~ **10**) を選択します。



エフェクトバンクを選択したら、エフェクタプリセットを選択します。**CURSOR** (▼) キーを使って **PRESET** の値を反転し、**VALUE** (+, -) キーを使ってプリセットを選択します。各プリセット毎に、異なるエフェクトモジュールが接続されています。(→39ページ「エフェクタプリセット一覧」)

エフェクトレベルを調節するには、**CURSOR** キー (▶) を使って以下のような画面にして、**VALUE** (+, -) キーを使います。



メモ

各エフェクタのパラメータ設定を変えることもできます。エフェクタについての詳細は「内蔵エフェクタを使う」(30ページ) をご覧ください。

CDに合わせてギターを弾く

CDを再生しながらギターを弾くと、CDとギター両方の音がヘッドホンから聞こえます。CDとギターの音のバランスを変えたいときは、**LEVEL** キーを押して **LEVEL** 画面を表示し、**CURSOR** キー (▶) を2回押して **IN LEVEL** の値を反転させ、**VALUE** (+, -) キーを使ってギター音量を調節します。(→29ページ「入力レベルを調節する」)

電源を切る

作業を終えたら、本体背面の **POWER** スイッチを約1秒押し続け、ディスプレイに“**TRAINER SERIES**”が表示されたら離します。

すべての設定を元に戻す

◀◀、▶▶ キーを同時に押しながら本機の電源をオンすると、**INITIALIZE** 画面が起動します。

起動後、画面の指示に従い **PLAY** キー (▶/||) を押すことにより、エフェクトパラメータ、各種再生設定などをお買い上げいただいた状態に戻すことができます。

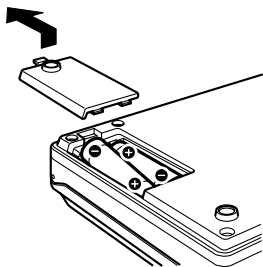
本機を市販の単3電池（4本）または専用のACアダプターで使用することができます。

メモ

電池、および専用アダプターは付属していません。

電池で使用する

本体裏側の電池ケースカバーを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて、単3型電池を4本入れてください。他のタイプの電池は使用しないでください。電池を入れたら、カバーを元に戻します。



電池についての注意

警告

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池以外の電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を水や火の中に入れてたり、分解したりしないでください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

電池残量表示

電池での駆動時に、ディスプレイ右上の電池アイコンで、おおよその電池残量が表示されます。



電池の残量は十分にあります。



電池の残量が半分位になっています。



電池の残量が少なくなっています。



電池切れのため、まもなく本体の電源がオフになります。新しい電池と交換してください。

電源について

電池持続時間

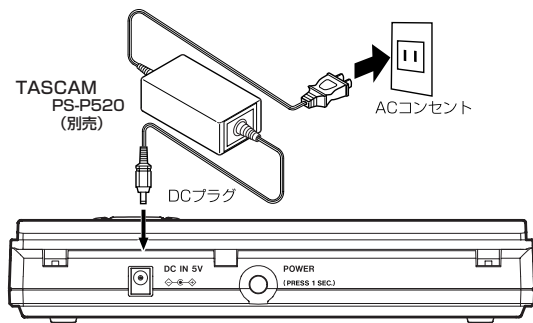
- フル充電した新しいニッケル水素電池使用時：約6.5時間
- アルカリ乾電池使用時：約5時間

ご注意

- 本製品はCD再生テンポ可変機能やエフェクタなど、特殊な機能が備わっているため、一般のポータブルCDプレイヤーに比べて電池寿命が短くなっています。
- 電池寿命は、本機の動作条件（周囲の温度、湿度、各種特殊機能のオン/オフなど）によって変わります。
- ご使用の電池の残量が少ない場合、電池アイコンの残量表示が多いにもかかわらず、正常に動作しないことがあります。この場合は、電池を交換するか、またはACアダプターを使用してください。

ACアダプターでの駆動

ACアダプターはTASCAM PS-P520（別売）をご使用ください。他のアダプターは使わないでください。故障の原因になる場合があります。ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN 5Vジャックにつなぎ、ACプラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込んでください。



ACアダプター使用時はディスプレイ右上に「」が表示されます。

ご注意

- 本体を使用しない場合には、ACアダプターをコンセントから抜くようにしてください。

電源のオン／オフ

本機の電源をオンするには、本体背面のPOWERスイッチを1秒以上押し続けます。ディスプレイに以下の画面が表示されたら離してください。



数秒後に起動が完了し、TIME DISPLAY画面が表示されます。

電源をオフするには、本体背面のPOWERスイッチを1秒以上押し続けます。ディスプレイに以下の画面が表示されたら離してください。

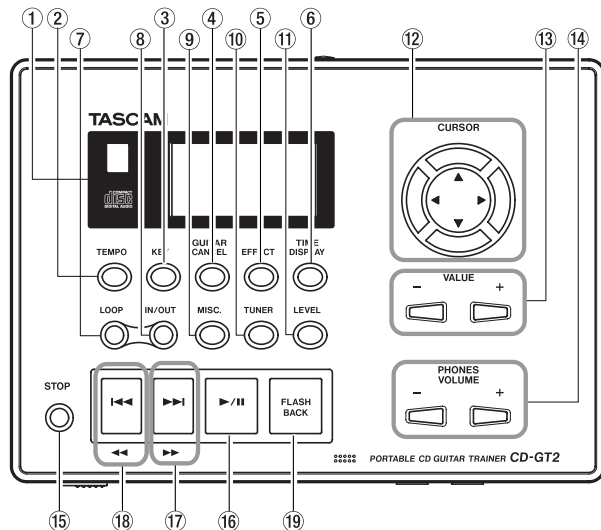


ご注意

- 電源のオン／オフは必ずPOWERスイッチを使って行なってください。
本体動作中に、電源アダプターを抜いたり電池を外して電源をオフにすると、設定した内容が保存されなかったり、あるいはすべての設定が初期化される可能性があります。
- 本機は電池でのご使用中にACアダプターの抜き差しを行うと、本体電源が一旦オフとなります。

各部の名称と機能

操作部



① ディスプレイ

CD再生時の情報、本機の設定などを表示します。

② TEMPOキー

このキーを押すと **TEMPO CHANGE** 画面が表示されます。この画面では、再生テンポを変えたり、VSA 機能のオン/オフを選択する

ことができます。(→24ページ「テンポを変える」)(→24ページ「テンポに伴って音程を変える」)

③ KEYキー

このキーを押すと **KEY & PITCH** 画面が表示されます。この画面では、再生音の音程(ピッチ)を変えることができます。(→25ページ「音程だけを変える」)

④ GUITAR CANCELキー

このキーを押すと **GUITAR CANCEL** 画面が表示されます。この画面では、ギターキャンセル機能の設定やオン/オフを行ないます。(→25ページ「ギターの音を減衰させる」)

⑤ EFFECTキー

このキーを押すと **EFFECTOR** 画面が表示されます。この画面では、ギターエフェクタやマイクエフェクタの設定を行ないます。(→30ページ「内蔵エフェクタを使う」)

⑥ TIME DISPLAYキー

このキーを押すと **TIME DISPLAY** 画面が表示されます。この画面には再生中のCDの情報などが表示されます。(→20ページ「TIME DISPLAY画面」)

⑦ LOOPキー

ループ再生やリピート再生機能のオン/オフを行ないます。**IN**、**OUT** ポイントが設定されている場合はループ再生のオン/オフを行ない、**IN**、**OUT** ポイントが設定されていない場合はリピート再生のオン/オフを行ないます。(→26ページ「ループ再生する」)(→27ページ「リピート再生する」)

⑧ IN/OUTキー

このキーを使って、ループ再生の始点（INポイント）と終点（OUTポイント）を登録します。（→26ページ「ループ再生する」）

⑨ MISC.キー

このキーを押すと**SETUP & MISC.**画面が表示されます。この画面では、メトロノーム機能の実行/設定や各種の設定を行ないます。

⑩ TUNERキー

このキーを押すと**TUNER**画面が表示されます。この画面では、楽器のチューニングを行ないます。（→33ページ「チューナーを使う」）

⑪ LEVELキー

このキーを押すと**LEVEL**画面が表示されます。この画面では、**GUITAR/MIC IN**端子をギター入力用とマイク入力用のどちらにするかを選択し、また入力信号とCD再生の音量を個別に調節することができます。（→28ページ「ギターやマイクを使う」）

⑫ CURSOR（▲、▼、◀、▶）キー

画面内で、設定項目を選択します。

⑬ VALUE（+、-）キー

画面内で、選択中の項目の値を変更します。

⑭ PHONES VOLUME（+、-）キー

ヘッドホンの音量を調節します。キーを押して音量を調節している間、**PHONES VOLUME**画面が表示されます。

⑮ STOPキー

CDの再生中や一時停止（**PAUSE**）中に押すと、停止状態になります。

⑯ ▶/||キー

停止中や一時停止（ポーズ）中に押すと、再生を開始します。再生中に押すと、一時停止します。

⑰ ▶▶、▶▶キー

短く押すと、次の曲にスキップします。また再生中や一時停止中にこのキーを押したままにすると、早送りサーチを行ないます。停止中にこのキーを押したままにすると、トラック番号が自動的に増えます。

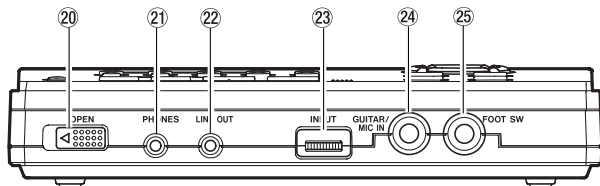
⑱ ◀◀、◀◀キー

短く押すと、手前の曲にスキップします。また再生中や一時停止中にこのキーを押したままにすると、早戻しサーチを行ないます。停止中にこのキーを押したままにすると、トラック番号が自動的に減ります。

⑲ FLASH BACKキー

再生中に押すと、あらかじめ設定した秒数だけ手前に戻って再生を行ないます。戻る秒数の設定は**SETUP & MISC.**画面で行ないます。（→23ページ「少しかえす（フラッシュバック機能）」）

前面



⑳ OPEN スイッチ

このスイッチを左へスライドすると操作部全体が開き、ディスクの装着／取り出しができる状態になります。

㉑ PHONES 端子 (ステレオミニジャック)

ヘッドホンを接続するための端子で、CD 再生信号や GUITAR/MIC IN 端子からの入力信号を出力します。

㉒ LINE OUT 端子 (ステレオミニジャック)

CD 再生信号や GUITAR/MIC IN 端子からの入力信号を出力します。オーディオシステムやアンプ内蔵スピーカーなどを接続します。

㉓ INPUT ダイヤル

GUITAR/MIC IN 端子の入力レベルを調整します。

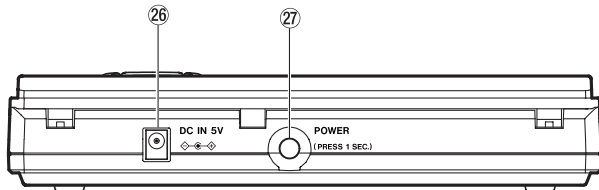
㉔ GUITAR/MIC IN 端子 (標準ホンジャック)

エレキギターやマイクロホンを接続します。

㉕ FOOT SW 端子 (標準ホンジャック)

TASCAM RC-30P などの 2 極のフットスイッチを接続します。あらかじめ **SETUP & MISC.** 画面で設定した機能を、フットスイッチを使って実行することができます。

背面

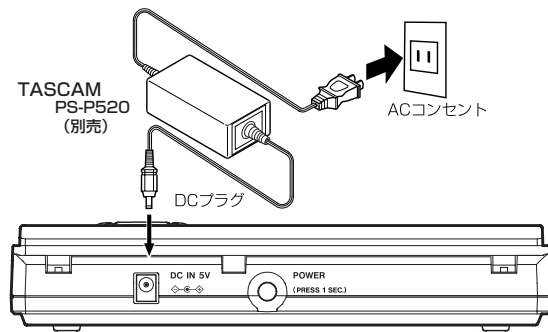
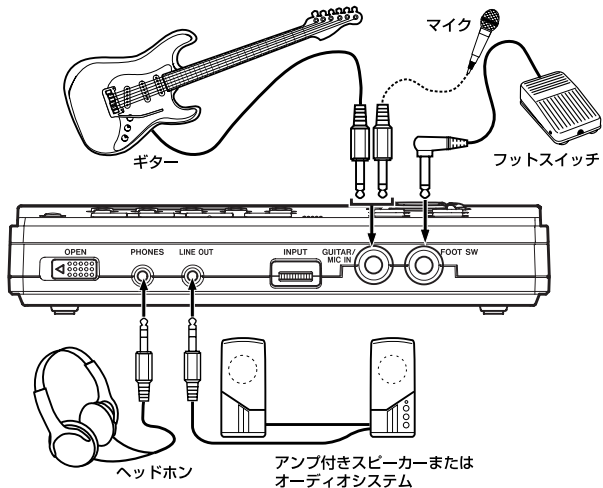


㉖ DC IN 5V 端子

別売の AC アダプター (TASCAM PS-P520) を接続します。

㉗ POWER スイッチ

電源のオン/オフを行ないます。1 秒以上押し続けることにより、電源のオン/オフすることができます。



- DC IN 5V ↔ 別売ACアダプター (PS-P520)

- PHONES 端子 ↔ ヘッドホン
- LINE OUT 端子 ↔ オーディオシステム／アンプ付スピーカーなど
* 必要に応じて変換ケーブルを使います。
- GUITAR/MIC IN 端子 ↔ ギターまたはマイク
- FOOT SW 端子 ↔ 2極のフットスイッチ (TASCAM RC-30P など)

画面の表示と操作

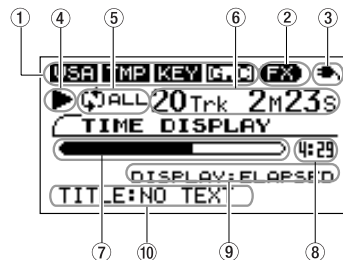
画面概要

本機のディスプレイには、機能に応じて以下の画面が表示されます。各画面を表示するには、それぞれの専用の呼び出しキーを押します。なお本機の電源を入れた直後は **TIME DISPLAY** 画面が表示されます。

画面	呼び出しキー
TIME DISPLAY 画面	TIME DISPLAY キー
TEMPO CHANGE 画面	TEMPO キー
KEY & PITCH 画面	KEY キー
GUITAR CANCEL 画面	GUITAR CANCEL キー
EFFECTOR 画面	EFFECT キー
LEVEL 画面	LEVEL キー
TUNER 画面	TUNER キー
SETUP & MISC.画面	MISC.キー
PHONES VOLUME 画面	PHONES VOLUME (+、-) キー

TIME DISPLAY 画面

TIME DISPLAY 画面は本機の電源を入れた直後に表示される画面です。



① USA、TMP、KEY、G.C アイコン

それぞれ、VSA、テンポチェンジ、キーチェンジ、ギターキャンセル機能が働いているときに反転表示になります。

② FX アイコン

ギターエフェクタあるいはマイクエフェクタが働いているときに点灯します。

③ 電源状態表示

電池使用時は電池の状態を表示します (→ 13 ページ「電池で使用する」)。AC 電源使用時は “” を表示します。

④ 走行モード

走行中 (▶)、一時停止中 (⏸)、早送り中 (⏩)、早戻し中 (⏪) にそれぞれのアイコンを表示します。停止中は何も表示されません。

⑤ 再生モード表示

ループモード、リピートモード、シングルモードがオンのときにそれぞれのアイコンが表示されます (→26ページ「ループ再生する」) (→27ページ「リピート再生する」) (→27ページ「プレイモードを選択する」)。

⑥ CD時間表示

CDの時間を表示します。SETUP & MISC.画面で、時間モードを選択することができます。(→37ページ「時間表示を選ぶ」)

⑦ CD内の再生位置

CD内における現在の再生位置をバー表示します。

⑧ CDのトータル時間

CDのトータル時間が表示されます。

⑨ CD時間表示モード

CD時間表示のモードを表示します。

*この画面から設定を行なうことはできません。

⑩ TITLE

CDテキストが記録されているCDを再生している場合、CDおよび再生中のトラックのタイトルが表示されます。

その他の画面

共通の表示

画面名、電源状態、CDプレーヤーの走行状態、トラック番号、およびCDの再生時間は、すべての画面に表示されます。

EFFECT画面、LEVEL画面、TUNER画面では、以下のように表示されます。その他の画面ではTIME DISPLAY画面と同じように表示されます。(→20ページ「TIME DISPLAY画面」)



再生機能の表示 (VSA、TMP、KEY、G.C)

TEMPO画面、KEY & PITCH画面、GUITAR CANCEL画面、SETUP & MISC.画面では、TIME DISPLAY画面と同じように上部に各再生機能の状態が表示されます。

設定項目

TIME DISPLAY以外の各画面には設定項目があります。設定操作については次の「設定操作の基本」をご覧ください。

設定操作の基本

TIME DISPLAY 画面以外の画面では、必要に応じて設定や選択を行なうことができます。必要に応じて **CURSOR** キーと **VALUE** キーを使って設定や選択を行なうことができます。

- **設定項目を選択するには：**

CURSOR (▲、▼) キーを使います。

選択中の項目の値が反転表示になります。

EFFECTOR および **LEVEL** 画面では、**CURSOR** (◀、▶) キーを使って項目を選択する場合があります。

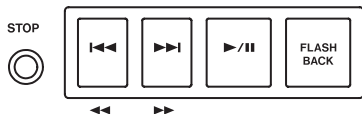
メモ

現在の項目より上に他の項目があるときは▲、下に他の項目があるときは▼が、画面右に表示されます。

- **値を選択するには：**

VALUE (+、-) キーを使います。選択した値 (設定) は即座に反映されます (確定操作をする必要はありません)。

CDの基本再生



再生する

停止中または一時停止中、▶/|| キーを押すと再生を開始します。

停止する

再生中STOPキーを押すと停止します。

曲を選ぶ

停止中、再生中または一時停止中に▶▶/◀◀キーを押すと、次/手前の曲頭にスキップします。停止中に▶▶/◀◀キーを押したままにすると、トラックが増/減します。

サーチする

再生中や一時停止中に▶▶/◀◀キーを押したままにすると、早送り/早戻しサーチを行ないます。

少しだけ戻す（フラッシュバック機能）

再生中に少しだけ戻したい場合、FLASH BACK キーを押すと、設定した秒数だけ手前に戻って再生を行ないます。戻る秒数は初期設定で3秒ですが、以下の方法で1秒～5秒の間の任意の秒数に設定できます。

1. MISC.キーを押してSETUP & MISC.画面を表示します。
2. CURSOR (▲、▼) キーを使って、FLASH BACK を選択します。
3. VALUE (+、-) キーを使って、希望の秒数を設定します (1s～5s)。



音量を調節する

ヘッドホンでモニターする場合、PHONES VOLUME (+、-) キーを使って音量を調節します。

PHONES VOLUME キーを操作すると、ディスプレイが PHONES VOLUME 画面になり、画面上にヘッドホン出力レベルが数値とバーで表示されます。この画面は数秒後に自動的に以前の画面に戻ります。



テンポを変える

再生テンポを変えることができます。いちばん遅いテンポ設定では、元のテンポの半分のテンポになります。

1. TEMPO キーを押して TEMPO CHANGE 画面を表示します。
2. TEMPO が選択されているとき、VALUE (+、-) キーを使って希望のテンポ (%) を設定します。



テンポ値を 0 以外に設定すると、テンポモードがオンになり、設定されたテンポに従って再生が行なわれます。画面上部の「**TMP**」が反転します。

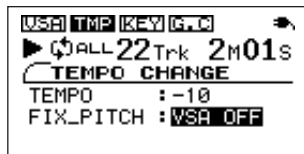
メモ

2つのVALUE (+、-) キーを同時に押すと、テンポ値が0にリセットされます。

テンポに伴って音程を変える

VSA 機能 (Variable Speed Audition) をオン (初期設定) にしておくと、テンポを変えたときに曲の音程が変わりません。通常のピッチコントロールのようにテンポを遅く (速く) するとキーが下がる (上がる) ようにするには、VSA 機能をオフにします。

1. TEMPO キーを押して TEMPO CHANGE 画面を表示します。
2. CURSOR ▼ キーを使って FIX_PITCH を選択し、VALUE (-) キーを使って「VSA OFF」に設定します。



VSA 機能をオフに設定すると、画面上部の「**VSA**」が反転表示から通常表示になります。

音程だけを変える

テンポを変えずに音程だけを変えることができます。

1. KEY キーを押してKEY & PITCH 画面を表示します。
2. KEY が選択されているとき、VALUE (+, -) キーを使って半音単位で音程を上下します。



KEYでは、±6半音の範囲（b 6～# 6）で音程を上下できます。

“0”以外に設定すると、音程を変えて再生が行なわれます。ディスプレイの“KEY”が反転します。

メモ

2つのVALUE (+, -) キーを同時に押すと、KEY値が0にリセットされます。

3. CURSOR ▼ キーを使ってFINE_PITCHを選択し、VALUE (+, -) キーを使うと、音程を微調整することができます。

セント（半音の1/100）単位で音程を上下できます。

メモ

2つのVALUE (+, -) キーを同時に押すと、FINE_PITCH値が0にリセットされます。

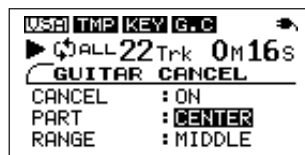
メモ

KEYの設定が“0”であっても、FINE_PITCHで微調整を行なうと、画面上部の“KEY”が反転します。

ギターの音を減衰させる

CDに録音されているギターの音を減衰することができます。

1. GUITAR CANCEL キーを押してGUITAR CANCEL画面を表示します。
2. CANCELが選択されているとき、VALUE (+, -) キーを使ってONに設定します。



“ON”に設定するとギターキャンセル機能がオンになり、画面上部の“G.C.”が反転します。

音楽によってギターキャンセル機能を使ってギター部分を十分に減衰できない場合があります。その場合、“PARTとRANGE”の設定を変えることにより、効果的に減衰できる場合があります。実際の音を聴きながら、最適な設定を選んでください。

メモ

音楽の録音された状態により、この機能を使ってギター部分をキャンセルできない場合があります。

● PART

減衰させたい音のステレオ定位に合わせて設定します（LEFT 10～CENTER～RIGHT 10）。初期設定はCENTERです。

● RANGE

減衰させたい音の音域に合わせて、MIDDLE（中音域）またはALL（全音域）を選択します。初期設定はMIDDLEです。

ループ再生する

希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. 再生中にループ再生を始めたいポイントでIN/OUTキーを押します。
現在位置がIN（始点）として設定され、再生位置表示バーの下部の該当位置に“I”が表示されます。
2. ループ再生を終わらせたいポイントでIN/OUTキーを押します。
現在位置がOUT（終点）として設定され、再生位置表示バーの下部の該当位置に“O”が表示され、IN-OUT間のループ再生が始まります。

走行モード表示部の右に“I+O”が表示されます。



- ループ再生を中止するには、LOOPキーまたはIN/OUTキーを押します。
LOOPキーを押した場合、ループ区間の設定が残り、再びLOOPキーを押すと設定された区間のループ再生が始まります。
IN/OUTキーを押した場合、ループ区間の設定（IN点とOUT点の設定）がキャンセルされます。

プレイモードを選択する

本機には以下の2つのプレイモードがあります。

ALLモード（初期設定）：

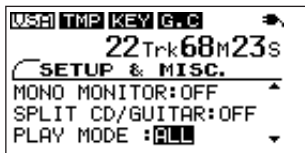
通常モードです。いったん再生を始めると、ディスクの最後まで再生を行ないます。

SINGLEモード：

再生を始めた曲の最後まで再生します。

プレイモードの選択は以下の手順で行ないます。

- MISC.キーを押して、**SETUP & MISC.**画面を表示します。
- CURSOR ▲/▼キーを使って**PLAY MODE**を選択し、VALUE (+、-)キーを使って**ALL**または**SINGLE**を選択します。



メモ

SINGLEを選択すると、時間表示部の左に“**SINGLE**”が表示されま
す。

リピート再生する

リピート再生モードでは、プレイモード設定に応じて全曲（プレイモード**ALL**）または現在の曲（プレイモード**SINGLE**）を繰り返し再生します。

リピート再生を行なうには、ループ再生の始点（**I**）と終点（**O**）が設定されていないときに**LOOP**キーを押します。

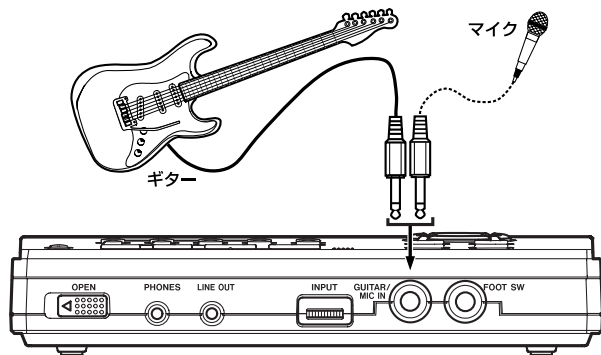


メモ

- リピート再生のオン/オフは、**SETUP & MISC.**画面の**REPEAT**を使って設定することもできます。
- プレイモード**ALL**のリピート設定時は“**ALL**”が表示され、プレイモード**SINGLE**のリピート設定時は“**1**”が表示されます。

ギターやマイクを使う

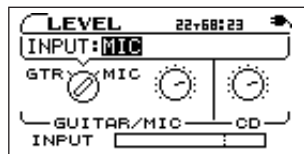
本機にギターやマイクを接続することにより、ギターやマイクとCD再生音をミックスすることができます。またギター用/マイク用エフェクタも搭載していますので、本機をギターや歌の練習用に使うこともできます。



入力を設定する

初期設定では、GUITAR/MIC IN端子はギター入力用に設定されています。マイクを入力する場合は以下の方法で設定を切り換えます。

1. LEVELキーを押してLEVEL画面を表示します。
2. CURSOR (▶) キーを使って INPUT (初期設定=GUITAR) を選択し、VALUE (+) キーを使って MIC に設定します。



メモ

INPUTの設定に応じて、使用できるエフェクタ (→39ページ「エフェクタプリセット一覧」) も変わります。

入力レベルを調節する

GUITAR/MIC IN端子の左にあるINPUTボリュームを使って入力レベルを調節します。LEVEL画面の下部に入力レベルメーターが表示されますので、目安にしてください。

モニター音量を調節する

CDの再生音量の調節と同じように、ヘッドホンでモニターする場合、PHONES VOLUME (+、-) キーを使って音量を調節します。(→24ページ「音量を調節する」)

メモ

LINE OUT 端子経由でオーディオシステムやアンプ内蔵スピーカーを使ってモニターする場合は、外部機器で音量を調節してください。本機のLINE OUT端子の出力レベルは調節できません。

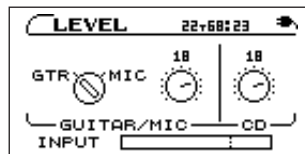
CDを再生しながら演奏する

本機は、GUITAR/MIC IN端子からの入力信号とCD再生信号をミックスして、PHONES およびLINE OUT 端子から出力することができます。したがって、CDの再生に合わせてギターを演奏したりマイクを通して歌って「共演」することができます。

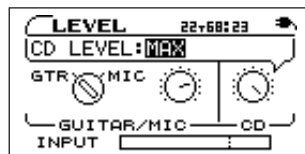
このとき以下の方法で、CD再生信号および入力信号のレベルを個別に調節できますので、お好みのミックスバランスにすることができます。

1. LEVEL キーを押してLEVEL画面を表示します。

INPUT 切替つまみとIN LEVELつまみ、およびCD LEVELつまみが表示されます。それぞれのつまみでGUITAR/MIC IN端子からの入力信号の切替とレベルおよびCD再生信号のレベルを調節します。



2. CURSOR (◀、▶) キーを使って操作するつまみを選択します。選択中のつまみのレベル値が「吹き出し」に反転表示されます。



3. VALUE (+、-) キーを使ってレベルを調節します。

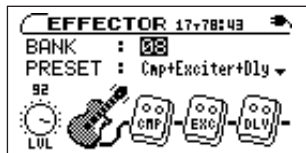
値を変えると、それに伴ってLEVELつまみのアイコンが回転します。

ギターやマイクを使う

内蔵エフェクタを使う

本機にはマルチエフェクタが内蔵されています。LEVEL画面のSELECTの設定(GUITAR/MIC IN端子の入力設定)に応じて、使用できるエフェクタがギター用またはマイク用になります。(→28ページ「入力を設定する」)

EFFECTキーを押すとEFFECTOR画面が表示されます。



上図のようにEFFECTOR画面にはBANKとPRESETのほか、LVL(レベル)つまみ、エフェクトモジュールの各アイコンが表示されています。ギターアイコンやマイクロホンアイコンは、現在使用できるエフェクタがギター用であるかマイク用であるかを示すものですが、この他のアイコンはすべて、設定項目を持ちます。エフェクトモジュールの種類は、選択しているGUITAR/MIC IN端子の入力設定によって変わります。

EFFECTOR画面での項目選択にはCURSORキーを使いますが、LVLつまみやエフェクトモジュール間の移動を行なうときはCURSOR(◀、▶)キーを使います。LVLつまみやエフェクトモジュールを選択すると、設定項目が下図のように「吹き出し」に表示されます。「吹き出し」で設定項目の選択を行なうにはCURSOR(▲、▼)キーを使います。値の設定はVALUE(+、-)キーを使って行ないます。



BANK

バンク01～10、またはBYPASSを選択します。

各バンクごとにプリセットエフェクトを設定することができます。よく使うエフェクトを各バンクに設定しておくことにより、バンクを切り換えるだけで即座に希望のエフェクトを呼び出すことができます。BANKはGUITAR/MIC IN端子の入力設定ごとに、個別に設定を保存できません。

エフェクタを使わないときはBYPASSを選択します。

PRESET

最大3台のエフェクトモジュールを使ったエフェクトプリセットの中から、希望のプリセットを選択します。プリセット毎にエフェクトモジュールの組み合わせが異なります。

なおGUITAR/MIC IN端子の入力設定に応じて、ギター用またはマイク用のプリセットが使用可能です。

各プリセット毎のエフェクトモジュール組み合わせは「エフェクタプリセット一覧」(39ページ)をご覧ください。

LVLつまみ

エフェクト出力レベルを調節します。**CURSOR** (◀、▶) キーを使って **LVL** つまみを選択するとレベル値が「吹き出し」に反転表示され、**VALUE** (+、-) キーを使ってレベル設定 (0～100) することができます。

エフェクトモジュール

CURSOR (◀、▶) キーを使って各モジュールアイコンを選択すると、下図のようにパラメータ設定が表示されます。パラメータの種類はモジュールタイプによって異なります。モジュールタイプ毎のパラメータの詳細は「エフェクトモジュールのパラメーター一覧」(41ページ) をご覧ください。



メモ

LVLつまみ、および各エフェクトモジュールのパラメータにカーソルがあるときは、**CURSOR** (◀、▶) キーを使ってモジュールを選択できます。**CURSOR** (▲、▼) キーを使うとパラメータを選択できます。

その他の機能

メトロノームを使う

本機はメトロノームを内蔵していますので、ギターの練習時などに使うと便利です。

1. MISC.キーを押してSETUP & MISC.画面を表示します。

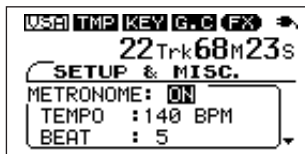


2. CURSOR (▲、▼) キーを使ってMETRONOMEを選択します。

3. VALUE (+) キーを使ってONに設定します。

最後に行なったテンポ/ビート設定（あるいは初期設定）でメトロノームがスタートします。

4. ONするとメトロノーム設定項目（TEMPO、BEAT）が表示されます。CURSOR (▲、▼) キーを使って設定項目を選択し、VALUE (+、-) キーを使って値を設定します。



メモ

CD再生中にメトロノームをONにするとCD再生が停止します。

TEMPO

テンポを設定します。40～220の範囲で設定できます。

BEAT

拍子を設定します。拍子は2～6の範囲で設定できます。

“0”に設定するとアクセントがありません。

メモ

- テンポと表示の設定は電源をオフにしても記憶され、次回メトロノームを使うときに反映されます。
- BEATを選択しているときにCURSOR ▼キーを押すと、MONO MONITORが選択され、メトロノーム設定項目の表示が消えます。CURSOR ▲キーを押すと再びメトロノーム設定項目が表示されます。

メトロノームを止めるには

以下のいずれかの操作を行ないます。

- STOPキーを押す。
- SETUP & MISC.画面のMETRONOMEをOFFに設定する。

メモ

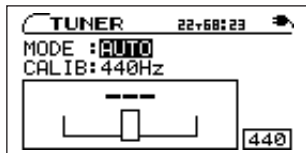
メトロノームを使っているときにCDプレーヤーの操作キーを押すと、メトロノーム機能がオフになります。

チューナーを使う

本機はチューナー機能を内蔵しています。このチューナーを使ってギターの一のチューニングができる以外に、チューニング用の任意の音を外部に出力することができます。

まず最初にチューナーモードを選択します。

1. TUNER キーを押して TUNER 画面を表示します。



2. MODE の値が選択されているとき、VALUE (+, -) キーを使って以下の中からチューナーモードを選択します。

AUTO モード (クロマチックチューナーモード)

GUITAR モード (ギターチューナーモード)

OSC. モード (オシレーターモード)

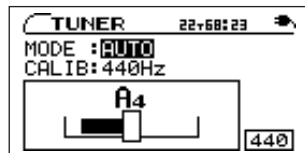
以下に各モード別に説明します。

AUTO モード (クロマチックチューナーモード)

通常のモードです。チューニングする弦を変える毎に設定を変える必要がありません。画面 (左図参照) にはチューニングメーターと入力信号の音程が表示されます (入力がないときは "---" 表示)。

1. GUITAR/MIC IN 端子にギターを入力し、チューニングしたい弦を弾くと、もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
2. 合わせたい音名が表示されるよう、ラフにチューニングを行ないます。メーター中央部が点灯するようにチューニングします。

チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。



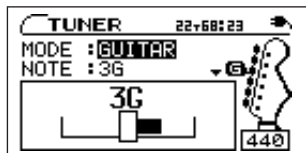
メモ

CALIB を選択し、VALUE (+, -) キーを使って A 音の基準周波数を 435Hz ~ 445Hz の範囲で設定します。

この設定値はすべてのチューナーモードに共通です。

GUITARモード (ギターチューナーモード)

チューニングする弦を変える毎に設定を変えます。



1. **CURSOR ▼**キーを使って **CALIB** を選択し、**VALUE (+, -)** キーを使って A 音の基準周波数を 435Hz～445Hz の範囲で設定します。

この設定はすべてのチューナーモードに共通です。

2. **CURSOR ▲**キーを使って **NOTE** を選択し、**VALUE (+, -)** キーを使ってチューニングする弦 (1E、2B、3G、4D、5A、6E) を選択します。

選択中の弦の名称がメーター上部に表示されます。(同時に画面右側のギターペグ (糸巻き) にも表示。)

3. メーター中央部が点灯するようにチューニングします。

チューニング方法は前述の **AUTO** モードと同じ方法です。

OSC.モード (オシレーターモード)

内蔵のオシレーターを使って、3オクターブ (C4音～B6音) の範囲のサイン波を **PHONES** 端子および **LINE OUT** 端子から出力することができます。

オシレーターモードには以下の4つの設定項目があります。**CURSOR**

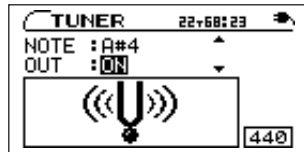
(▲、▼) キーを使って項目を選び、**VALUE (+, -)** キーを使って値を選択します。

NOTE

発生する音 (C4音～B6音) を選択します。

OUT

オシレーター音を **PHONES** 端子および **LINE OUT** 端子から出力するかしないかを選択します。**ON** に設定すると、音叉が振動しているような表示になります。



LEVEL

発生音の出力レベル (0～100) を **VALUE (-, +)** キーで調節します。

CALIB

A 音の基準周波数を 435Hz～445Hz の範囲で設定します。

この設定値はすべてのチューナーモードに共通です。

フットスイッチを使う

フットスイッチを使って、さまざまな本体動作を行なうことができます。フットスイッチで実行できる動作は、フラッシュバック、早戻し、早送り、エフェクトバンク切替、エフェクトのオン/オフのいずれかです。

接続する

本体前面の **FOOT SW** 端子に2極のモーメンタリーフットスイッチ (TASCAM RC-30P など) を接続します。

接続後、**MISC.**キーを押して **SETUP & MISC.**画面を表示し、必要に応じて以下の設定を行ないます。

動作を設定する

CURSOR (▲、▼) キーを使って **FOOT FUNC.** を選択し、**VALUE** (+、-) キーを使って以下の中から希望の動作を選択します。

FLASH : **FLASH BACK** キー操作と同じ

REW : ◀◀/◀◀ キー操作と同じ

FF : ▶▶/▶▶ キー操作と同じ

BANK : エフェクトバンクの切替

EFFECT : エフェクトのオン/オフ



極性を設定する

本機は、フットスイッチの極性が TASCAM RC-30P を **NORMAL** として **DEFAULT** 設定されています。お手持ちのモーメンタリーフットスイッチに合わせて極性を反転させることができます。

CURSOR (▲、▼) キーを使って **FOOT TYPE** を選択し、**VALUE** (+、-) キーを使ってご使用のフットスイッチに合わせて **NORMAL** または **INVERT** を選択します。



いろいろな設定を行なう

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定を行なうことができます。

以下の設定項目はすべて **SETUP & MISC.**画面内の項目です。

MISC.キーを押して **SETUP & MISC.**画面を表示し、**CURSOR** (▲、▼) キーを使って項目を選び、**VALUE** (+、-) キーを使って値を選択します。

モノラルでモニターする

PHONES 端子および **LINE OUT** 端子からの出力信号をモノラルにすることができます。

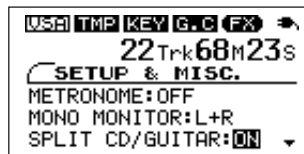


MONO MONITOR の設定を以下の中から選択します。

- OFF** : 通常のステレオモニターです。(初期設定)
- L+R** : 左右チャンネルの信号がミックスされて出力されます。
- L** : 左チャンネルの信号が両チャンネルから出力されます。
- R** : 右チャンネルの信号が両チャンネルから出力されます。

CD再生音とギター音を左右に分離する

PHONES 端子および **LINE OUT** 端子から出力される CD 再生信号およびギター (またはマイク) 信号を左右に分離することができます。



SPLIT CD/GUITAR の設定を **ON** にすると、CD 再生信号が L チャンネルからモノラルで出力され、**GUITAR/MIC IN** 端子からの入力信号が R チャンネルから出力されます。

時間表示を選ぶ

ディスプレイに表示されるCD 時間表示の内容を選ぶことができます。



TIME INFO の設定を以下の中から選択します。

ELAPSED : 現在のトラックの再生経過時間を表示します。

REMAIN : 現在のトラックの残り時間を表示します。

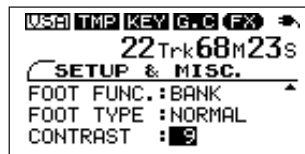
TOTAL REMAIN : ディスク全体の残り時間を表示します。

メモ

TIME DISPLAY 画面には選択中の時間表示モード名が表示されません。

ディスプレイのコントラストを変える

まわりの明るさ等に応じて、ディスプレイのコントラスト（濃淡）をお好みにより変えることができます。



CONTRAST の設定値を 1 ~ 10 の中から選びます。数値が大きいほどコントラストが強くなります。

すべての設定を元に戻す

◀◀、▶▶ キーを同時に押しながらか本機の電源をオンすると、INITIALIZE 画面が起動します。

起動後、画面の指示に従いPLAYキー (▶/||) を押すことにより、エフェクトパラメータ、各種再生設定などをお買い上げいただいた状態に戻すことができます。

仕様

CDプレーヤー

対応CDフォーマット：	CD-DA (オーディオCD)、CD-TEXT
対応ディスク：	12cm/8cm CD、CD-R、CD-RW
A/Dコンバーター：	24ビット
D/Aコンバーター：	24ビット
DSP内部演算：	32ビット
サンプリング周波数：	44.1kHz
量子化ビット数：	16ビットリニア
周波数特性：	20～20,000Hz + 0.5/- 5dB
SN比：	85dB
ダイナミックレンジ：	90dB
高調波歪率：	0.05%以下 (200Hz—20kHz)
チャンネルセパレーション：	80dB

オーディオ入出力定格

GUITAR/MIC IN 端子：

- コネクタ：6.3φモノラルホンジャック
- 基準入力レベル：-15dBV (GUITAR)、-40dBV (MIC)
- 最大入力レベル：+6dBV (GUITAR)、-19dBV (MIC)

LINE OUT 端子：

- コネクタ：3.5φステレオミニジャック
- 基準出力レベル：-10dBV
- 最大出力レベル：+6dBV

PHONES 端子：

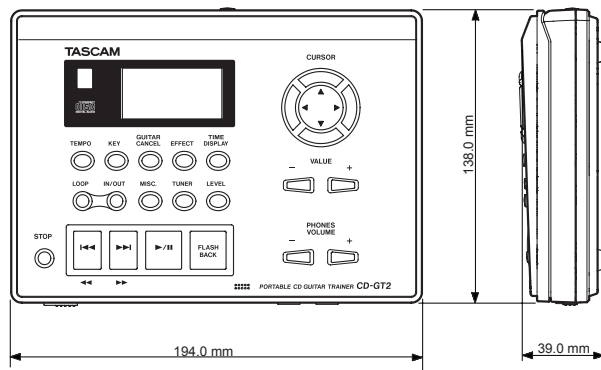
- コネクタ：3.5φステレオミニジャック
- 最大出力：15mW + 15mW (32Ω)

一般

電源：	単三形電池×4、 またはDC-5V (別売ACアダプターPS-P520が必要)
消費電力：	2.5 W (ACアダプター使用時)
最大外形寸法：	194(幅)×39(高さ)×138(奥行) mm (W×H×D)
質量：	550g (電池含まず)
付属品：	取扱説明書、トラブルシューティングガイド、保証書

- 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なることがあります。

寸法図



GUITAR EFFECT

プリセット 番号	プリセットネーム
1	Dst + Flanger + Rev
2	Dst + Flanger + Dly
3	Dst + Phaser + Rev
4	Dst + Phaser + Dly
5	Dst + Exciter + Rev
6	Dst + Exciter + Dly
7	Dst + Chorus + Rev
8	Dst + Chorus + Dly
9	Dst + Tremolo + Rev
10	Dst + Tremolo + Dly
11	Dst + Vibrato + Rev
12	Dst + Vibrato + Dly
13	Dst + Autowah + Rev
14	Dst + Autowah + Dly
15	Dst + Pitch + Rev
16	Dst + Pitch + Dly
17	Dst + Reverb
18	Dst + Delay
19	Distortion
20	O.D + Flanger + Rev
21	O.D + Flanger + Dly
22	O.D + Phaser + Rev
23	O.D + Phaser + Dly

プリセット 番号	プリセットネーム
24	O.D + Exciter + Rev
25	O.D + Exciter + Dly
26	O.D + Chorus + Rev
27	O.D + Chorus + Dly
28	O.D + Tremolo + Rev
29	O.D + Tremolo + Dly
30	O.D + Vibrato + Rev
31	O.D + Vibrato + Dly
32	O.D + Autowah + Rev
33	O.D + Autowah + Dly
34	O.D + Pitch + Rev
35	O.D + Pitch + Dly
36	Overdrive + Rev
37	Overdrive + Dly
38	Overdrive
39	Cmp + Flanger + Rev
40	Cmp + Flanger + Dly
41	Cmp + Phaser + Rev
42	Cmp + Phaser + Dly
43	Cmp + Exciter + Rev
44	Cmp + Exciter + Dly
45	Cmp + Chorus + Rev
46	Cmp + Chorus + Dly

プリセット 番号	プリセットネーム
47	Cmp + Tremolo + Rev
48	Cmp + Tremolo + Dly
49	Cmp + Vibrato + Rev
50	Cmp + Vibrato + Dly
51	Cmp + Autowah + Rev
52	Cmp + Autowah + Dly
53	Cmp + Pitch + Rev
54	Cmp + Pitch + Dly
55	Compressor + Rev
56	Compressor + Dly
57	Compressor
58	Flanger
59	Flanger + Delay
60	Flanger + Reverb
61	Phaser
62	Phaser + Delay
63	Phaser + Reverb
64	Exciter
65	Exciter + Delay
66	Exciter + Reverb
67	Chorus
68	Chorus + Delay
69	Chorus + Reverb

プリセット 番号	プリセットネーム
70	Tremolo
71	Tremolo + Delay
72	Tremolo + Reverb
73	Vibrato
74	Vibrato + Delay
75	Vibrato + Reverb
76	Autowah
77	Autowah + Delay
78	Autowah + Reverb
79	Pitch
80	Pitch + Delay
81	Pitch + Reverb
82	Reverb
83	Delay

VOCAL EFFECT

プリセットナンバー	エフェクトネーム	効 果	パラメータの範囲
VOCAL_01	Chorister	ディチューンによりボーカルに複音感をあたえるサウンド	0～20
VOCAL_02	Emphasis	埋もれがちなボーカルを際立たせるサウンド	0～20
VOCAL_03	Shout	ボーカル用ディストーションサウンド	0～30
VOCAL_04	Mood	ムードを演出するボーカルサウンド	0～30
VOCAL_05	Echo1	コンプレッサーのかかったボーカル用エコーサウンド	0～20
VOCAL_06	Echo2	ビブラートのかかったボーカル用エコーサウンド	0～99
VOCAL_07	Quivering	ビブラートのかかったボーカルサウンド	0～30
VOCAL_08	Duet	女性デュエット、男性デュエット、ハーモニーなどを演出するサウンド	-17～0～+17
VOCAL_09	Lo-Fi	ローファイなボーカルを演出するサウンド	0～12
VOCAL_10	Megaphone	メガホーンを通したようなボーカルサウンド	0～99
VOCAL_11	Screaming	ボーカル用フランジャーサウンド	0～30
VOCAL_12	Panning	左右に振れるボーカルサウンド	0～30

エフェクトモジュールのパラメーター一覧

下表は本機に実装されたエフェクト・プリセットを構成する各エフェクト・モジュールの特徴について説明したものです。個々のエフェクトの中には単独ではなく他のモジュールと組み合わせて使用することで良い効果を得られる場合があります。各モジュールごとのパラメータを調整してもイメージしたサウンドが得られないときには、よりイメージに合うプリセットを探してみることをお勧めします。

モジュール	効果	パラメータ	パラメータ内容	値域
DISTORTION (DST)	ギターのを深く歪ませ、輪郭感や厚み、サスティーンを与えます。伸びやかなリードサウンドです。	DIST	歪みの程度を調整します。	0～30
		TONE	トーンを調整します。	0～12
OVERDRIVE (OD)	ギターのを軽く歪ませ、ドライブ感を与えます。アメリカン・サウンドの表現に効果的です。	DRIV	歪みの程度を調整します。	0～30
		TONE	トーンを調整します。	0～12
COMPRESSOR (CMP)	ギターのを圧縮し、輪郭感やサスティーンを与えます。クセのないクリーンなサウンドです。	COMP	圧縮の程度を調整します。	0～30
		TONE	トーンを調整します。	0～12
FLANGER (FLA)	音にゆったりとしたうねりを与えます。“ジェットマシーン”と呼ばれるサウンドにすることができます。	SPD	うねりの速さを調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
PHASER (PHA)	音に粗いうねりを与えるエフェクトです。'70年代の“ファンクサウンド”のような雰囲気を作るのに効果的です。	SPD	うねりの速さを調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
EXCITER (EXC)	原音に高音成分を加え、輪郭をはっきりさせたり、きらびやかなサウンドにすることができます。	FREQ	原音に加算する高音成分を調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
CHORUS (CHO)	原音に音程のずれた音を加え、音に広がり、厚みを持たせます。70年代のハードロックやフュージョンでよく使われます。	DPTH	ずれの深さを調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20

エフェクトモジュールのパラメーター一覧

モジュール	効 果	パラメータ	パラメータ内容	値 域
TREMOLLO (TRM)	音量に周期的にゆれを与えます。ディレイとの組み合わせで回転式スピーカーのような効果を得ることができます。	SPD	ゆれの速さを調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
VIBRATO (VIB)	音程に周期的にゆれを与え、人工的にヴィブラートを表現します。	SPD	ゆれの速さを調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
AUTOWAH (WAH)	ワウ・ペダルに似た効果をピッキングの強弱で作り出すエフェクトです。ファンキーなサウンドにぴったりです。	SENS	ピッキングに対するワウの反応感度を調整します。	0～30
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
PITCH SHIFTER (PIT)	音程を変化させるエフェクトです。設定によりツイーンリードのような表現ができます。	PIT	音程を半音単位で調整します。(±5の範囲では半音より小さい変化となります。)	-17～+17
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
REVERB (REV)	擬似的に残響を作りだし、音に広がり感を与えます。深めかけると“サーフサウンド”のようになります。	TIME	残響の持続時間を調整します。	0～25
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20
DELAY (DLY)	“山びこ”のような効果を与えます。適度なディレイタイムと多めのミックス量で“ロカビリーサウンド”のようになります。	TIME	ディレイタイムを調整します。	0～99
		MIX	エフェクトの効果量を調整します。	0～20

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-809

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530

東京都多摩市落合1-47

<http://tascam.jp/>